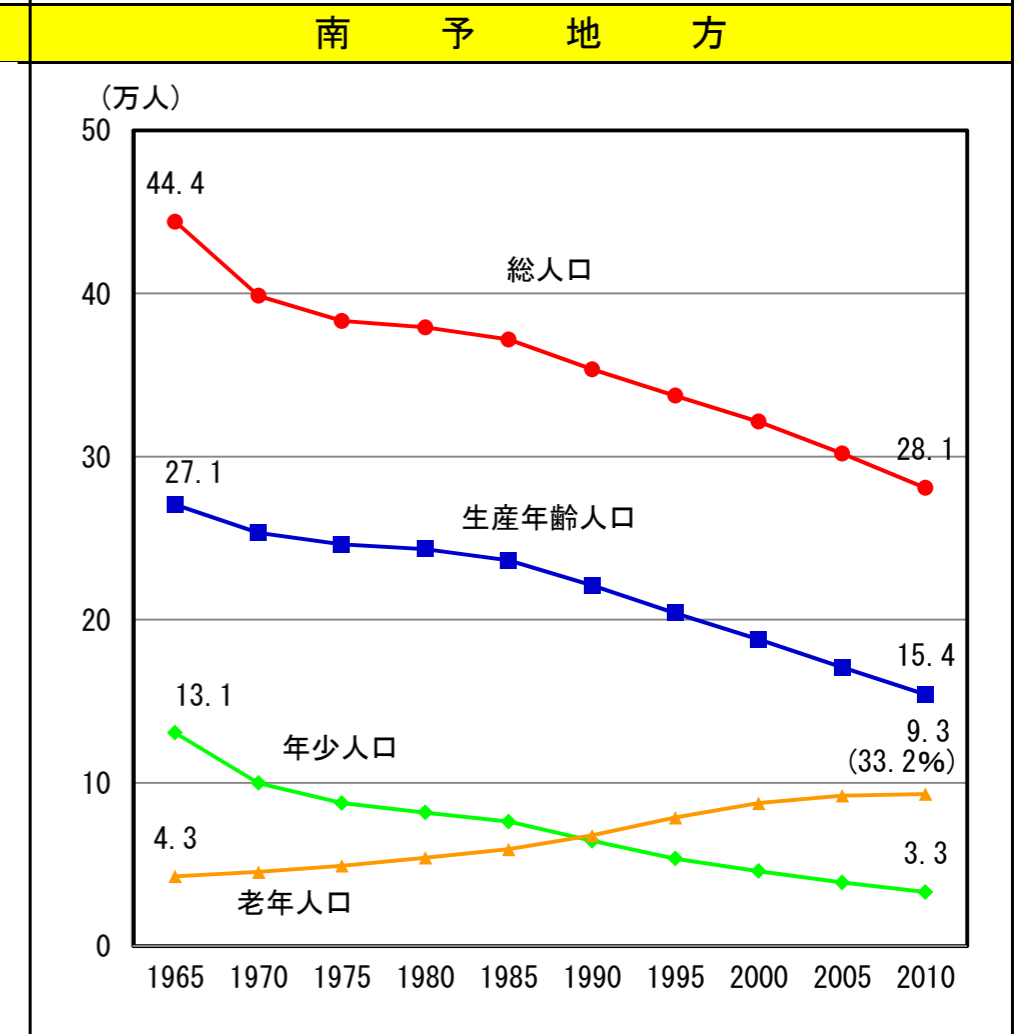
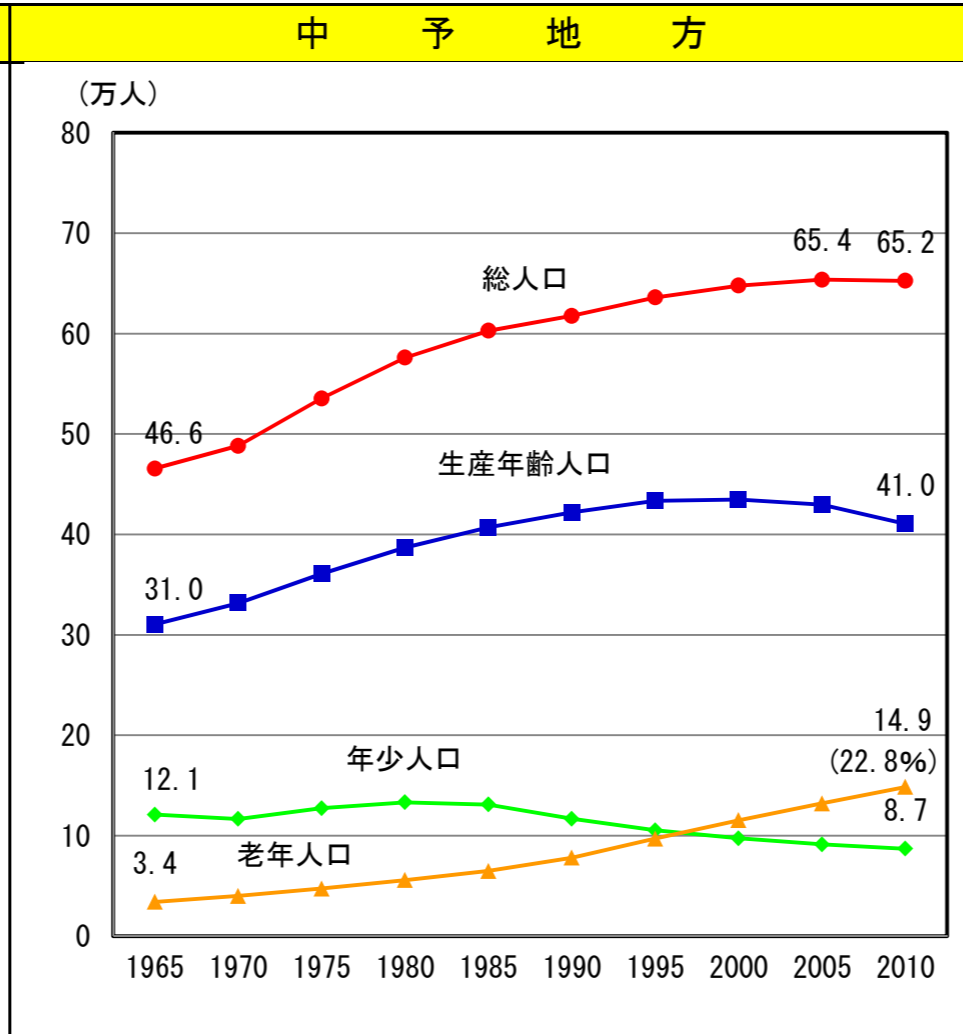
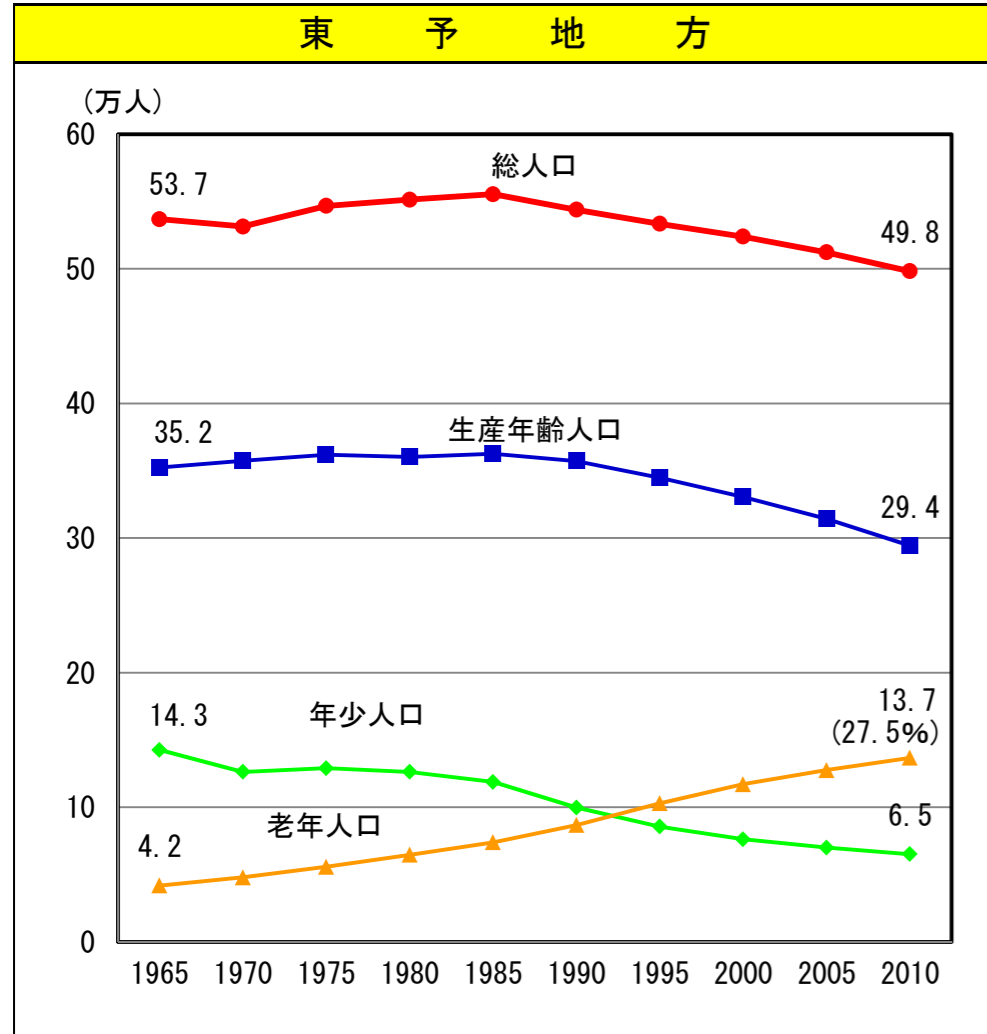
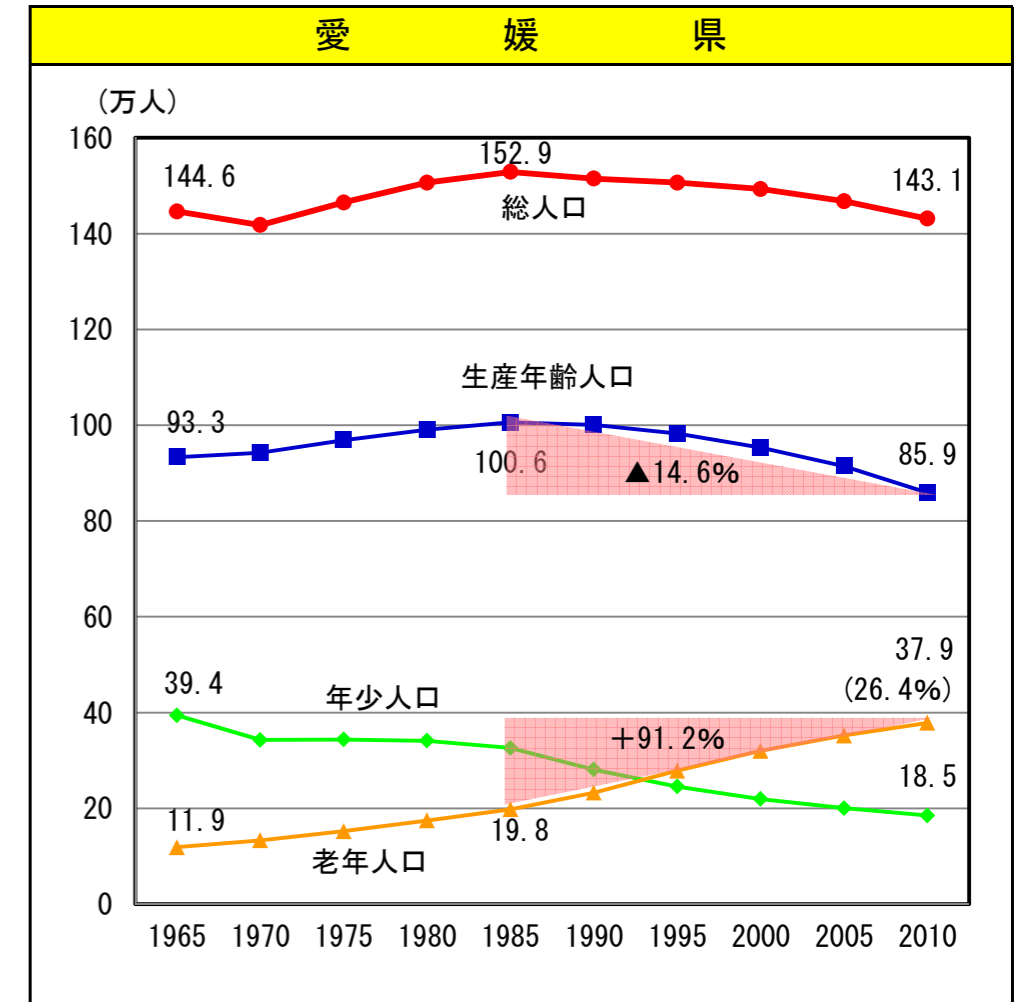


# 年齢3区分別人口の推移（1965～2010年）

- 人口は、1985年（昭和60年）以後、一貫して減少しており、2010年（平成22年）には 143.1 万人にまで減少。
- 年齢構成では、生産年齢人口（15～64歳）は1985年（昭和60年）から減少傾向にあり、2010年（平成22年）には14.6%減の85.9万人（▲14.7万人）に、老年人口は91.2%増の37.9万人（+18.1万人）に上昇。
- 県全体での総人口は減少しているが、中予地方では2005年（平成17年）まで増加しており、中予地方への人口集中が進んでいる。  
また、南予地方では他の地方と比べて人口減少が早く進んでおり、総人口に占める老年人口の割合も33.2%と他の地方よりも高い水準にある。



注 総務省統計局「国勢調査」。なお、年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15～64歳、老年人口は65歳以上の者。